

発明の名称	監視カメラシステム及びその運用方法(特許第 5481632 号)	
学内発明者	藤井 雄作(理工学府)	
技術分野	監視システム	IP20-026
発明の概要	インターホンが設置できる場所を始めとして防犯が要求される分野において、一般行人のプライバシー侵害の危険性を大幅に低減できる監視カメラシステムを提供する。	
説明図		<p>左図は本発明の監視カメラシステムの一実施形態のブロック図である。</p> <p>3 microSDカード (秘匿情報記録媒体) 4 監視カメラ(撮影装置) 5 microSDカード (映像記録媒体) 8 接続端子 9 RAM、10 ROM 11 CPU、12 撮影部 13 画像処理用IC 14 ライト、 15 赤外線センサ</p>
ポイント	予め定めた条件に応じて撮影された映像を秘匿化するか秘匿化しないかを判定するための判定手段及び前記映像を秘匿化するための映像秘匿化手段を備えた撮影装置と、前記撮影装置とは別に構成された、前記映像の秘匿化を解除するための秘匿化解除装置とを備え、前記撮影装置には、前記映像を記録するための映像記録媒体を接続可能に構成したことを特徴とする。	

発明の名称	周波数測定装置及び周波数測定方法(特許第 5286524 号)	
学内発明者	藤井 雄作(理工学府)	
技術分野	電気計測	IPF18-010JP
発明の概要	本発明の周波数測定装置及び周波数測定方法によれば、時刻計測対象となるゼロクロス位置を含む所定範囲内の複数のゼロクロス位置各々の時刻の平均値、又は所定範囲内の複数のゼロクロス位置各々の時刻に基づいて算出される時刻の差の平均値を用いて、波形情報の周期又は周波数を測定することにより、多くのゼロクロス位置の時刻を用いて測定しているため、サンプリング間隔を拡大させることなく、高精度かつ高分解能で周波数又は周期を測定することができる。	
説明図		<p>本発明の実施の形態の波形情報を示すグラフ。</p>
ポイント	サンプリング間隔を拡大させることなく、高精度かつ高分解能で周波数を測定することができるようにする。	